

2011年華語国際特別集会

(2011年2月18日—20日)

主題：神の言葉を語る

メッセージ 2

神の言葉の美しくし、殺す機能は、
キリストの栄光の花嫁、また神の団体の戦士としての召会のためである

聖書：エペソ 5:26-27. 6:17-18. 啓 19:7-9, 11-16

- I. 神の言葉の美しくする機能は、召会が整えられて、キリストの栄光の花嫁となることです。神の言葉の殺す機能は、召会が神の団体の戦士として機能し、彼の敵を殺すことです——エペソ 5:26-27. 6:17-18. 啓 19:7-9, 11-16：
- A. エペソ第5章で、言葉は養いのためであり、それは花嫁を美しくしますが、エペソ第6章で、言葉は殺すためであり、それは団体の戦士としての召会が、霊的戦いに従事することができるようにします。
 - B. 神の言葉の美しくする機能は、神のかたちのある召会を生み出します。神の言葉の殺す機能は、神の統治権のある召会を生み出します——創 1:26。
 - C. 勝利者は神の口から出るすべての言葉によって生きています。それは、神に従うことにおいて、神の言によって制御され、支配され、抑制され、制限されて、彼の花嫁となって彼を表現するためであり、また彼の敵を打ち破って、彼が統治するためです——マタイ 4:4. 申 17:18-20. 啓 19:13-14。
 - D. 主イエスは神の言として肉体において来て、召会を法理的に贖いました（ヨハネ 1:14）。彼は神の言として命を与える霊と成って、召会を有機的に救いました（I コリント 15:45 後半. エペソ 5:26. 6:17）。彼は神の言として彼の勝利者たちと共に戻って来て、地上に彼の王国を設立します（啓 19:13-16. 17:14. ダニエル 2:34-35, 44-45）。
- II. 召会は花嫁として美しく、「しみやしわや、そのようなものが何も」あってはなりません。召会を美しくすることは、キリストが命を与える霊として召会を聖化し、言葉の中の水の洗い（文字どおりには、洗盤）によって召会を清めることによります——エペソ 5:26-27：
- A. 花嫁の美しさは、召会の中へと造り込まれるキリスト、そして召会を通して表現されるキリストから来ます。わたしたちの唯一の美しさは、キリストを反映すること、わたしたちの内側からキリストが輝き出すことです——II コリント 3:16-18。
 - B. 過去、キリストは贖い主として、召会のためにご自身を捨てました（エペソ 5:25）。それは贖いと命の分け与えのためです（ヨハネ 19:34）。現在、彼は命を与える霊として、言葉の中の水の洗い（洗盤）によって召会を聖化し、美しくしています。将来、彼は花婿として、召会を配偶者としてご自身にささげ、満足を得ます（エペソ 5:26-27. 参照、雅 8:13-14）。
 - C. 幕屋の中の祭司が洗盤で洗わなければ、幕屋が機能するすべはありませんでした。

同じように、わたしたちが言葉の中の水の洗盤によって地的な汚れから清められなければならない、召会生活が機能するすべはありません——出 30:17-21. エペソ 5:26。

D. 聖書は二種類の汚れについて語っています。それは罪から来る汚れと、地的な接触から来る汚れ、すなわち、この世の事物と接触することから来る汚れです——参照、ヨハネ 13:12-17。

E. 洗盤における洗いは、キリストの血によって罪を洗い去ることを表徴するのではなく、命を与える霊、すなわち語る霊によって、地的な事物と接触することから来る汚れを洗い去ることを表徴します：

1. 命を与える霊は語る霊であり、彼が即時的に現在語ることは何であれ（ギリシャ語は「レーマ」）、わたしたちを洗う言葉です。

2. 言葉の中の洗いを得る道は、御言を祈り読みすることです——エペソ 6:17-18。

3. もし日ごとにわたしたちの内側に主の語りかけがないなら、わたしたちの実際的な経験の中で、その霊はおられません。なぜなら主の語りかけは、実はその霊であるからです——ヨハネ 6:63. エペソ 6:17。

4. わたしたちは主の現在の言葉を持っている限り、命を与える霊を持っています。わたしたちは、わたしたちのパーソンとしてのキリストが、彼の語りかけによってわたしたちと共におられることを知っています。なぜなら彼の語りかけは、命を与える霊の臨在そのものであるからです。

F. 洗盤が予表しているのは、命を与える霊の洗う力がキリストの死から生じることです。洗盤を祭壇の後に置くことが表徴しているのは、洗盤の洗う力が祭壇における神の裁きから出てくることです：

1. 十字架につけられたキリストは祭壇（十字架）における神の完全な裁きを経過した後、復活の中に入り、わたしたちを洗う命を与える霊と成りました——I コリント 15:45. 6:11. テトス 3:5。

2. 洗盤の大きさが記載されていないのは、命を与える霊が計り知れず、無制限であることを表徴します——ヨハネ 3:34。

G. 洗盤は、集会の天幕の入り口で仕え奉仕する女たちの鏡の青銅で作られました——出 38:8：

1. 青銅は神の義なる裁きを表徴します——参照、民 16:38-39. 21:9。

2. 青銅の洗盤は、映し、暴露することができる鏡でした。これが示しているのは、キリストの言葉にはわたしたちの不潔を暴露し、裁く力があり、またわたしたちが洗われる必要があることを見せるということです。

III. わたしたちは、「その霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、すべての祈りと願い求めによって受け取り……どんな時にも霊の中で祈」る必要があります——エペソ 6:17-18 前半：

A. その霊は神の言葉です。その霊と言葉はいずれもキリストです——II コリント 3:17. 啓 19:13。

B. キリストはその霊と言葉として、攻撃の武器としての剣をもってわたしたちを装備し、敵を打ち破って殺します。

C. 剣、その霊、言葉は一です。聖書の中の恒常的な言葉が即時的な言葉となるとき、

その言葉は剣としてのその霊であって、敵を殺します。

- D. わたしたちが御言を祈り読みすべきであるのは、おもに、殺す道具としての剣を経験して、神の敵を殺すためです。敵は彼自身をわたしたちの存在の中へと注入したので、わたしたちが必要とするのは、言葉の殺す力がわたしたちに適用されて、わたしたちの内側にある敵の要素を対処することです——エペソ 6:17-18。
- E. 祈り読みは、わたしたちの内側の消極的な要素を殺す実際的な道です。
- F. 自己は最大の敵であるので、わたしたちは神の言葉の殺す力を経験する必要があります。わたしたちが言葉をその殺す力と共に取り入れれば取り入れるほど、わたしたちの高ぶりと、内側のすべての消極的な要素はますます死に渡されます。
- G. わたしたちが御言を祈り読みするとき、戦いは激烈で、わたしたちの存在の中にある消極的な要素は殺されます。最終的に、自己、すなわち、すべてのうちで最悪の敵は死に渡されます。